

KOCHI 2013 ROTARY 2014 CLUB SINCE 1937



2013-14年度国際RIテーマ

週報



Weekly report 第3174回 2014年6月3日 2014年6月10日発行

● 会長挨拶

皆さんこんにちは。シドニーの国際大会へ出席された方が帰ってこられて、早速例会に出席していただいています。どうもご苦労様でした。

今日は、スケジュールの関係で、会長挨拶は時間があれば後ほどさせていただきます。

本日は、高知赤十字血液センター部長の溝渕樹様に「輸血と献血の話」と題してお話を伺います。



高知クラブが心を1つにして支える 関 裕司ガバナー

【クラブ討論会】

プログラムやクラブ活動などロータリー全般について会員に情報伝達とより良い奉仕活動のための意見交換会を目的とするクラブ全会員の公式会合。決議をするものではない。少なくとも四大奉仕について年4回開催することが望ましいとされている。これは例会とは別で適当な場所で、十分な時間を充て、全員参加が原則である。



■本日のプログラム [6 月 10 日]

ゲストスピーチ

JICA四国

中小企業海外展開支援アドバイザー

高井 正夫 氏

「JICAの中小企業海外展開支援について」

会 長	広 末 幸 彦
副 会 長	西 山 彰 一
幹 事	前 田 道 雄
副 幹 事	吉 澤 文 治 郎
会報責任者	小 笠 原 晃 男



● **ロータリーソング** 「君が代」 「我らの生業」

● **今週のピアノ曲** 「ジャニーギター」 ピアノ演奏：山内りり会員

● **来訪ロータリアン**

高知北RC 岡本憲尚氏 西岡正人氏



● **青少年奉仕委員会より**

先週、本年度の燦燦奨学生の選考を行い3名の奨学生が決まりました。24日の夜間例会に招いて、スピーチをしていただきます。今後ともご指導よろしくお願ひします。

● **米山功労者マルチプル表彰**

中島和代会員 関 雅文会員



● **新入会員紹介**

・藤野清光氏挨拶

長年東京にいますと、仕事にしろその他のことにしろ、東京からの目線になりがちです。今回、何十年ぶりかの地方勤務で、しかも高知県という歴史、伝統あるところに来れたことはすごく嬉しく思っています。自分のできることは小さくて限られてはいますが、こちらに来たからには高知県の皆さんとともに考え、また、ロータリークラブの活動を通じて、何かお役に立てればと思っています。よろしくお願ひします。



・梅村知史氏挨拶

こちらに来る前は、広島福山南RCで3年間お世話になりました。ロータリー歴は通算9年くらいなのですが、こちらは名門クラブだとお聞きして緊張しています。お酒は前任の村田よりは少し飲めるかな、ゴルフも彼よりもっともっとましかなと思っています。どうか皆さんの目で確かめていただければと思います。よろしくお願ひします。





● ゲストスピーチ

輸血と献血の話

高知県赤十字血液センター センター付部長 溝渕 樹氏

私は昭和57年に土佐高校を卒業、徳島大学医学部に進学。しばらくは徳島で仕事をしていましたが、平成9年、日赤病院の内科医として高知に帰ってきました。専門は内科医で、血液、輸血、糖尿病とかホルモンの病気、災害医療などで、循環器や消化器など内科の派手な分野とは違ったマイナーな分野を専門としています。22年から血液センターで献血、輸血の仕事をしています。



血液というのは心臓から血管を通して、身体中を回って心臓に帰ってくるという心臓と血管の中を流れている液体です。赤い色は赤血球の中のヘモグロビンに含まれている鉄の色です。動物によっては銅とかバナジウムを酸素の運搬に使っているものもいますので、全部の動物の血液が赤いわけではありません。血液は通常の成人で体重の約8%、体重60キロの人で4~5リットル。全体の血液の3分の1(約1リットル)が血管の外に出しまうと命が危なくなります。

血液を試験管に入れると下には主に赤血球が溜まります。次の白いところが白血球、その上に血小板という成分が出てきます。一番上の黄色いところが液体で血漿です。通常は黄色の透明ですが、コレステロールや中性脂肪の高い人は濁ってきます。血漿はほとんどが水分で、それ以外にタンパクや血を固める成分、電解質のナトリウム、カリウム、その他栄養素、ビタミン、ホルモンなどが含まれています。

血液の細胞の中には赤血球、白血球、血小板があり、赤血球は主に酸素を運びます。白血球の中には顆粒球とリンパ球という細胞があり、外から入ってくる異物をやっつけます。血小板は血を固める働きをします。骨の中の骨髓にある造血幹細胞は種の細胞で、骨髓という畑の中で、分化段階を経てだんだん大人になった細胞が血管の中に流れてきます。この造血の万能細胞である幹細胞を患者さんに輸血するといろんな成分をつくるので、この細胞を移植するのが骨髓移植という治療法です。この種の細胞は何でもなることができますので、患者さんの身体の中で、いろんな細胞を創り出します。

人の身体の中に外から入ってくるものを抗原、それをやっつける反応を免疫、やっつける成分を抗体と言います。1つの抗原に対しては1種類の抗体、つまり1対1の反応となります。ABO型の血液型を考える上で抗原と抗体は非常に大事なものです。A型というのは赤血球の表面にA型の抗原がついていて周りにはB型をやっつける

抗体。O型は表面には何もなくて、周りにAとBをやっつける抗体。B型は表面にB型がついていて、周りにはAをやっつける抗体、AB型はAとBを持っていて周りには抗体が全然ありません。ですから、O型はどの人にも赤血球を上げることができますが、AもBもやっつける抗体を身体の中に持っていますのでO型の人にしかもらえません。現在では300を超える血液型があって、これを全て合わせて輸血をするわけにはいきませんので、今はABO式とRHだけを合わせて輸血しています。このAB様式が間違っているととても強い反応が出ます。A型の印を持っている赤血球がA型をやっつける抗体があるところに入ってくると、血が壊れる反応が起こります。ABOの不適合で輸血をしてしまうと命が危ない、亡くなってしまうというような劇的な反応が起こりますので、血液型を合わせて輸血することが基本となります。ですから、患者さんの血液と輸血する血液を試験管で混ぜ合わせて適合血液交差試験を行なった上で輸血します。ただ、緊急時で血液型不明とかその人の型の血液が間に合わない時はO型の赤血球を輸血します。逆に血漿の部分には抗A、抗B抗体を含んでいないAB型が緊急の際には選択されます。チェック時に患者さんから採血した血液は副作用が生じた時の検査のために最長2年間保管されます。

今の輸血は、血液センターが輸血でいただいた血液を成分ごとに分けて、赤血球、血小板、新鮮凍結血漿という形で血液製剤をつくって、その時その時に不足している成分だけを輸血します。輸血をするのは、主にケガや外傷の方が多いのですが、骨折の場合でも、太ももが折れてしまうと骨のところの中で1リットルの出血をします。例えば事故で両方の太ももが折れたとすると、外からは分からないですが血管から2リットル出血しますので、患者さんはショック状態ですぐに輸血が必要です。ですから、整形の手術では輸血をすることが多くあります。また、骨髓移植や抗ガン剤治療など、血液の病気の場合は輸血が必要になります。基本的に輸血をしないと命に関わるような場合しか輸血はしませんが、統計によると輸血をした患者さんの半分の方が1年後には亡くなっています。

輸血には必ず副作用があります。違う人の身体のものが入ってきますのでアレルギー症状を起こしたり、血液の中に入っている細菌やウイルスによる感染症、肝炎などを発症します。かなり厳しく検査をしていますが、やはりゼロではないので注意をする必要があります。輸血による感染症は、1960年代、売血の時代には輸血を受けた2人に1人がB型肝炎が移っていたということがありました。それから売血はやめようという動きが出て、献血の時代になりいろんな検査が進んで、今ではB型肝炎は年間で5~10例、C型肝炎は3、4年に1例、エイズは2003年を最後に輸血による症例はなかったのですが、残念ながら2013年に1例が出てしまいました。今年度の8月から検

査の態勢を厳しくしていますので、B型肝炎は年に1例ぐらいいまで減らせるのではないかと考えています。

献血というのは、基本的には健康な人が自発的に無償で血液を提供するというのですが、ここの大前提が崩されてしまうと今回のようにいくら検査を厳しくしても、残念なことが起こってしまいます。日本では、すべて献血で血液製剤用の血液は賄っています。厚労省は血液製剤は国内で自給自足する方向でやっていますが、輸入製剤が安く完全自給はできていません。献血には全血と成分があります。全血は200ccと400cc、成分は血小板を採るものと血漿を採る方法があります。今バスでは400の全血採血しかやっていません。成分採血は献血ルームのやまもで行っています。

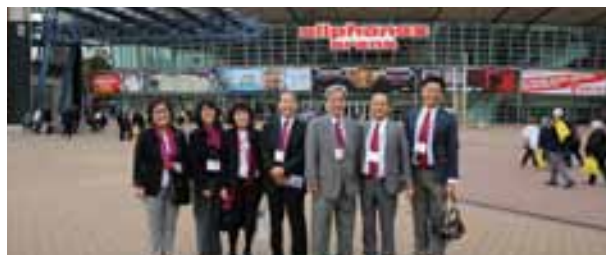
献血は、まず問診により当日安全に血液が採れるかどうか判断します。いただいた血液を患者さんに輸血した場合、患者さんにトラブルがないように安全な血液を確保するために、患者さんの身体に入っては具合が悪い薬を呑んでいる方や感染症の方からは採血しません。安全な血液製剤を確保するには、献血の時の問診、健康な人

から安全に採る。血液センターで検査してきちっと製剤して、適正に保管されたものを必要な時に滞りなく病院に供給することです。献血者、血液センター、病院、患者さん、この中の1つのステップでもうまくいかなければ安全な輸血にはなりません。今は高齢者の患者さんを高齢者が支えているような図式になっていて、厚労省の試算では、2027年には101万人の献血者延べ数が不足すると言われています。そこで、今、血液センターではできるだけ若い方に献血に参加してもらおうと、中学校や高校で出前講座を行ったり若年者向けのアピールを強く行っています。また、病院の方でも使い過ぎはないだろうか。高知県は人口当たりの赤血球の使用量が全国で2、3位になるぐらい多いんです。その部分で、きちっと使われているかどうか医療機関と連携して適正使用を推進していく対策も進めています。ロータリークラブさんでも、献血にご協力いただければと思いますし、骨髄バンクのドナー登録も血液センターで行っていますので、この点もご協力をよろしくお願いします。

◆ 関 裕司ガバナーより国際大会報告

高知RCから12人が約1週間、オーストラリアへ行って昨日帰ってまいりました。大会の発表によると登録1万8,000人、去年のリスボンは2万人とのことでしたが、今年の方が少なかったんです。オーストラリアはこのところ景気がいいものですから、物価がめっちゃくちゃ高い。私が40年前に初めてオーストラリアに行った時は1ドル60何円、今回は100円です。空港で換えると1万円は80数ドルしかもらえません。ホテルだと100ドルもらえますので、騙されたみたいな感じです。為替だけでも6、7割高くなっていますし、それにインフレですから感覚的には倍になっている感じです。

今回、物価のこともあって、昔から比べるとオーストラリアも大したことはないなと。やっぱり日本がいいと感じて帰ってきた旅行でした。



 ニコニコ箱

- 関 裕司 6月1日のシドニー国際大会開会式に参加し、今朝帰ってきました。土本、千頭、尾崎会員各ご夫婦、津野、藤田、中島、佐竹会員と我々夫婦、合計12名の楽しい旅でした。6月8日フィリピン中西部、マニラから空路1時間のパナイ島ロハス市で徳島RCがグローバル補助金を活用して行う台風で被害を受けた小学校の修復プロジェクトの式典に出るため、今週末からフィリピンに行ってきます。自分のクラブのプロジェクトだったらいいのと思いつつながら、老骨にムチ打って行ってきます。来週の例会は欠席させていただきます。
- 野崎 貴典 先日異動の内示があり、6月13日付けで高知を離れることになりました。NHKを退職し、NHK文化センターに再就職となります。3年間、楽しく過ごさせていただきましたことを心から感謝申し上げます。来週の例会が最後の参加となります。ありがとうございました。
- 久場 幸信 先々週、海野会員の「宝くじって誰のもの」の講演を聞き、その勢いで東京にまいりました。宝くじはいつ買うのか。それは良い事があった日ということも聞き、良い話を聞いたその日に有楽町で買いました。翌週も東京に行き、いつ買うの？今でしょ！のタイミングで2週連続買ってきました。海野会員のおかげで億万長者になれそうです。ありがとうございました。
- 川添 昇 日頃、大変お世話になっている血液センターさん、感謝申し上げます。私自身も高知市の血液推進員です。大切な血液を大切に利用できるようお願いしています。
- 宮田 速雄 久しぶりに出席しましたら、珍しい方が何人かおられました。お互い「おっ珍しいね」と言い合いました、珍しさにニコニコします。
- 亥角 政春 私の誕生日をお祝いいただきましてありがとうございます。お礼にニコニコいたします。
- 入交 章二 53歳になります。カール・ルイスや中井貴一と同じ年といえはかっこよく、ダチョウ倶楽部の上島竜平と同じ年というイメージダウンですね。お誕生日のお祝いどうもありがとうございました。
- 入交 英太 誕生日お祝いいただきありがとうございます。
- 小山 勝久 誕生月を祝っていただき誠にありがとうございます。6月30日でいよいよ52歳。健康第一でこれからもアサヒスーパードライを大いに楽しんでいきます。
- 森木潤一郎 結婚記念日ありがとうございました。
- 吉澤文治郎 妻の誕生日に素晴らしいお花をありがとうございました。妻もいよいよ大台です。ああ・・・。
- 野村 直史 日頃はご迷惑をかけております。今日はS会員に綱を付けられて出てまいりました。ニコニコします。
- 久松 朋水 中田さんにお声をかけていただき感謝です。久しぶりの出席にニコニコさせていただきます。
- 中島 和代 今朝オーストラリアから帰ってきました。国際ロータリー世界大会はなかなか楽しく盛大に行われました。道中は関ガバナーはじめ千頭さん、尾崎さんには本当にお世話になりました。また、往復土本先生ご夫婦にも大変お世話になりました。ありがとうございました。すっかり疲れていますので、このあとゆっくり休みたいのです。
- 杉本芙美子 関ガバナーはじめ国際大会出席された皆様、お疲れさまでした。お忙しい中、クラブを代表して出席していただきましたことに感謝とお礼を申し上げます。
- 吉村 貴志 先週、大学2年の愚息がライフル射撃関東学生選手権にて優勝しました。ニコニコ。気の早い親ばかな私は、リオに向けて預金を始めます。
- 日和崎二郎 先週、久しぶりにホームクラブに出席しましたら、来週は100%例会を行うので、何としても出席を・・・と発表を受け、本日は先約をお断りして出席いたしました。テーブルにつくと、珍しいお顔の会員さんが次々と同じテーブルに。高野の宮田社長曰く「まあ珍しい人ばかりやネ〜」「それはあなたでしょ!」と四銀の野村さん。何という会話なのか・・・。
- 澁谷 伸一 松山行きでのハプニングでは、皆様にご心配をおかけしました。元気でやっております。
- 中村 裕司 少し先の話ですが、来る7月9日新旧会長、幹事激励・慰労会を開催いたしますので、ご出席をお願いします。ところで皆様覚えていらっしゃいますか？前年度会長は千頭さん、幹事は私だったのです。
- 中田 由季 誕生日を祝っていただきありがとうございます。例会中、隣りの先輩方が「おまんはジジイやき輸血できんろう」と言えば「ジジイの人に言われとうない」など、ここでは書けないこととずっと言いつつ、子どものような無邪気な先輩方にニコニコします。
- 出席委員会一同 100%例会につき、皆様ご協力いただきありがとうございました。

◇ 例 会 変 更 ◇

高知ロイヤルRC	6月10日→15日	職場例会に変更(旭)	高知南RC	6月12日→10日	日時計例会に変更(阪)
高知南RC	6月19日	夜間例会(阪)	高知西RC	6月20日	夜間例会(三)
高知RC	6月24日	夜間例会(三)	高知ロイヤルRC	6月24日	夜間例会(旭)
高知東RC	6月25日	夜間例会(阪)	高知中央RC	6月26日	夜間例会(城)
高知北RC	6月30日	夜間例会(三)			

※サインメーカーキャップのできるホテル (三)… 三翠園 (城)… 城西館 (阪)… ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)… ホテル日航高知旭ロイヤル

◇ 出 席 率 ◇

	総数	出席	欠席	メイクアップ	出席率
6月 3日	(-7)89	65	16	1	80.49
5月20日	(-8)87	58	7	14	91.14

● 累計額 [6月3日現在]

ニコニコ箱	951,000 円	ロータリー ^{さんさん} 燦々基金	105,522 円	ポリオ募金	436,800 円
-------	-----------	----------------------------	-----------	-------	-----------

■ 次週のプログラム [6 月 17 日]

会員スピーチ
 (株)JTB中国四国高知支店 支店長
 野浪 健 会員
 「JTB
 地域交流事業について」

創 立 昭和12年10月
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
 TEL(824)8660 FAX(824)2529
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>